

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
必修	2単位	卒業研究 I	小林 俊哉	2年次	春

授業のキーワード	マスメディア、新聞、問題解決
授業の概要・目的 及び修得させる知識・技能	新聞の実情、可能性、問題点や課題など、マスコミ全体についての目配りもしながら、研究論文を完成させます。
履修のアドバイス・ 前提科目等	私たちは日常生活の多くの時間を、様々なメディアとのつきあいに費やします。今年度は新聞に氾濫する多くの情報の、賢い活用方法を学びます。また、新聞に登場するさまざまな話題を素材に、その背景研究、問題解決などについても学びます。

授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	オリエンテーション	基本的なゼミの運営方法を確認します。	第9講	問題解決のしくみ	「問題解決」とはなになのか。その基本について学びます
第2講	ゼミとは何か	そもそも大学におけるゼミとは何か。なにを目的とするのか。どのようなことを学べるのかなどについて概観します。	第10講	問題解決のしくみ(その2)	「問題解決」をするための、「問題」の設定方法について学びます。
第3講	ゼミとは何か(その2)	前項を引き続きゼミの基本を学びます。また自分のメディアの関心事についても語り合います。	第11講	問題解決のしくみ(その3)	「問題解決」の問題設定について引き続き学びます。
第4講	メディアとは何か	あまりにも私たちの生活に密着しているメディア。その基本的な性格について学びます。	第12講	新聞とのつきあい	テレビとならび一番身近なメディアは新聞。その歴史、功罪、役割、これからの可能性を探ります。
第5講	メディア・リテラシーとは何か	メディア・リテラシーとはそもそも何か、その基本について学びます。	第13講	新聞とのつきあい(その2)	毎朝宅配される新聞は、テレビと同様、物心が付く頃にはもう家庭の一部でしょう。その役割をさらに詳しく学びます。
第6講	メディア・リテラシーとは何か(その2)	引き続きメディア・リテラシーの特徴について学びます。	第14講	ゼミ論執筆へ向けて	ゼミ論文を書くに当たっての心構え、テーマの選び方、注意点などを指摘します。
第7講	私たちとメディア	私たちはメディアとどのようなつきあいをしてきたでしょう。「自分のメディアとのつきあい史」を振り返ります。	第15講	試験	期末レポート提出
第8講	私たちとメディア(その2)	引き続き「メディアとのつきあい史」を考えます。現在の自分の形成にメディアはどのような影響を及ぼしたのかを考えます。中間レポート提出	評価方法		中間レポート 40% 期末レポート 60%
備考 (関連する資格・試験等)					
使用する教科書 (必ず購入してください)			参 考 文 献		
授業中に指示します					